

CAMEDIA デジタルカメラ C-100

クイックスタートガイド

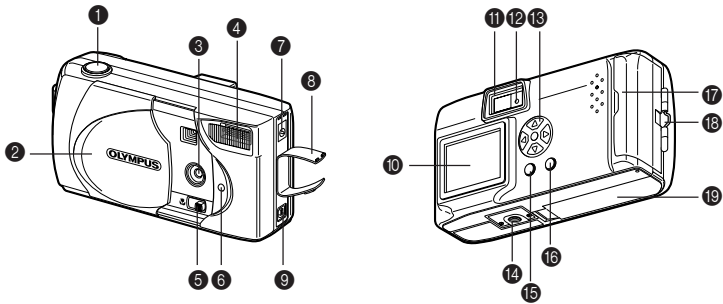
このたびは、オリンパス製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に別冊の取扱説明書をよくお読みになり、試し撮りをしてカメラが正常
に機能することをお確かめください。

■セット内容

次のものが揃っているか、ご確認ください。

- デジタルカメラ (本体) 1台
- ストラップ 1本
- 単3アルカリ電池 4本
- USBケーブル 1本
- CD-ROM (キャメディア インフォメーション ディスク) 1枚
- クイックスタートガイド (本紙) 1冊
- 取扱説明書 (カメラ編) 1冊
- 取扱説明書 (PC 接続編) 1冊

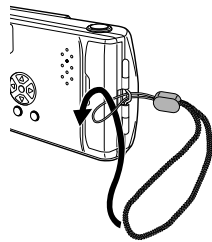
■各部の名称



- 1 シャッターボタン
- 2 レンズバリア
- 3 レンズ
- 4 フラッシュ
- 5 マクロレバー
- 6 セルフタイマーランプ
- 7 DC 入力端子
- 8 コネクタカバー
- 9 USB 端子
- 10 液晶モニター
- 11 ファインダー
- 12 緑ランプ
- 13 十字ボタン
- 14 三脚穴
- 15 液晶モニターボタン
- 16 OK/メニューボタン
- 17 カードカバー
- 18 ストラップ取付部
- 19 電池カバー

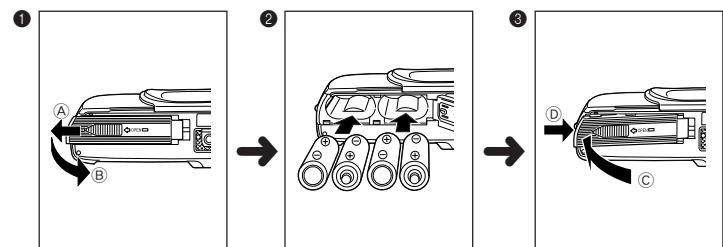
■ストラップの取り付け方

- ストラップ取付部にストラップの短い方を通します。
- ストラップの長い方を輪にくぐらせます。
- 少し強めに引っ張り、取り付けられたことを確認してください。



■電池の入れ方

注意 レンズバリアが閉じていること、液晶モニターと緑ランプが消灯していることを確認してください。



- 電池カバーを A の方向にずらし、B の方向に引き上げます。
- 図のように電池の向きを正しく合わせて入れます。
- 電池カバーを C の方向に引き下げ、D の方向に押し込みます。

■日時・時刻の設定

- 電源ボタンを押すと、液晶モニターが点灯します。
- メニューボタンを押すと、メニューが表示されます。
- 設定ボタンまたは方向ボタンを押して [設定] を選択し、OKボタンを押します。
- 設定ボタンまたは方向ボタンを押して [日時設定] を選択し、OKボタンを押します。
- 設定ボタンまたは方向ボタンを押して日付の順序を、Y-M-D (年月日)、M-D-Y (月日年)、D-M-Y (日月年) から選択し、OKボタンを押します。
- 設定ボタンまたは方向ボタンを押して最初の項目を入力し、OKボタンで次の項にすすみます。
- 同様の操作を繰り返し、時刻まで入力します。
- 時報の 0 秒に合わせて電源ボタンを押します。
- 電源ボタンを押すと、液晶モニターが消灯します。

■撮影編

電源 ON : レンズバリアを開けます。(撮影できます)
電源 OFF : レンズバリアを閉じます。

注意 緑ランプが点滅しているときは、絶対に電池やACアダプタを抜かないでください。
また、カードをお使いの場合はカードカバーを開けないでください。撮影した画像
が記録されないだけでなく、撮影済みの画像が破壊される恐れがあります。

メモ 撮影するときは、シャッターボタンを軽く押した状態 (A 半押し) から、さらに
シャッターボタンを押し込みます (B 全押し)。



■フラッシュ (閃電マーク)

- レンズバリアを開けます。
- OKボタンを押して、現在のフラッシュモードを確認します。
- さらにOKボタンを押して、設定を変更します。
フラッシュモードが設定されました。

メモ フラッシュモードの設定
 オート (表示なし) 暗いときや逆光のとき、自動的に発光します。
 赤目 (赤丸) 人物の目が赤く写る現象を軽減します。
 強制発光 (閃電) 必ず発光させます。
 OFF (閃電) 暗いところでも発光させません。
 夜景 (星) 夜景を撮影するときに使います。
 夜景赤目 (星と赤丸) 夜景をバックに人物を撮影するときに使います。
 ・レンズバリアを閉じるとオート (初期設定) に戻ります。赤目 (赤丸) のみ、レンズ
 バリアを閉じていても設定は保持されます。

■マクロ (虫)

- 撮影する距離が 25cm ~ 60cm のときに使います。
- レンズバリアを開けて、マクロバーを虫マーク方向にスライドさせます。
 - 電源ボタンを押すと、液晶モニターが点灯します。
 - 液晶モニターを見ながら撮影します。
- メモ** レンズバリアを閉じると、マクロが解除されます。

■セルフタイマー (時計)

- レンズバリアを開けた状態でメニューボタンを押すと、撮影メニューが表示されます。
 - 設定ボタンまたは方向ボタンを押して [撮影] を選択し、OKボタンを押します。
 - 設定ボタンまたは方向ボタンを押して [ドライブ] を選択し、OKボタンを押します。
 - 設定ボタンまたは方向ボタンを押して [セルフタイマー] を選択し、メニューボタンを押します。
 - もう一度メニューボタンを押すと、メニューが終了します。
 - 撮影します。
セルフタイマーランプが 10 秒点灯し、2 秒間点滅した後撮影されます。
- メモ** 1 枚撮影後、セルフタイマーは自動的に解除されます。

■デジタルテレ

- 1.6 倍、2 倍、3.2 倍、4 倍のデジタル望遠撮影ができます。
- レンズバリアを開けて設定ボタンを押すと、液晶モニターが点灯します。
 - 設定ボタンを押すたびに [1.6x → 2.0x → 3.2x → 4.0x] と設定が変わります。
設定ボタンを押すたびに [3.2x → 2.0x → 1.6x → オフ] と設定が変わります。
 - 液晶モニターを見ながら撮影します。
- メモ** ・電源ボタンを押すと液晶モニターが OFF になり、デジタルテレが解除されます。
・3.2 倍、4 倍に設定するときは、画質モードを SQ2 にしてください。

■連写 (連写マーク)

- レンズバリアを開けた状態でメニューボタンを押すと、撮影メニューが表示されます。
 - 設定ボタンまたは方向ボタンを押して [撮影] を選択し、OKボタンを押します。
 - 設定ボタンまたは方向ボタンを押して [ドライブ] を選択し、OKボタンを押します。
 - 設定ボタンまたは方向ボタンを押して [連写] を選択し、メニューボタンを押します。
 - もう一度メニューボタンを押すと、メニューが終了します。
 - 撮影します (シャッターボタンを押している間、連写ができます。シャッターボタン
から指を離すと連写が止まります)。
- メモ** レンズバリアを閉じると、連写が解除されます。

■露出補正

画像の明るさを変えることができます。

- ① レンズバリアを開けた状態で \odot ボタンを押すと、撮影メニューが表示されます。
- ② \triangleleft または \triangleright ボタンを押して [撮影] を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ③ \triangleleft または \triangleright ボタンを押して [露出補正] を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ④ \triangleleft ボタン (- 暗く)、または \triangleright ボタン (+ 明るく) を押して補正值を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ⑤ もう一度 \odot ボタンを押すと、メニューが終了します。
- ⑥ 撮影します。

メモ レンズバリアを閉じると、露出補正が 0.0 (初期値) に戻ります。

■測光方式 (\square \square)

- ① レンズバリアを開けた状態で \odot ボタンを押すと、撮影メニューが表示されます。
- ② \triangleleft または \triangleright ボタンを押して [撮影] を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ③ \triangleleft または \triangleright ボタンを押して [測光] を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ④ \triangleleft または \triangleright ボタンを押して測光方式を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ⑤ もう一度 \odot ボタンを押すと、メニューが終了します。
- ⑥ 撮影します。

メモ ・ 測光方式
ESP (表示なし) ファインダ内の周辺部と中心部を測光し、最適な露出を決めます。
スポット (\square) ファインダ内の中央のみを測光し、逆光などで撮りたいものが暗くなる時に背景の光などに影響されることなく撮影できます。

・ レンズバリアを閉じると、ESP (初期設定) に戻ります。

■ホワイトバランス (\odot \odot \odot \odot)

- ① レンズバリアを開けた状態で \odot ボタンを押すと、撮影メニューが表示されます。
- ② \triangleleft または \triangleright ボタンを押して [画像] を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ③ \triangleleft または \triangleright ボタンを押して [ホワイトバランス] を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ④ \triangleleft または \triangleright ボタンを押してホワイトバランスを選択し、 \odot ボタンを押します。
- ⑤ もう一度 \odot ボタンを押すと、メニューが終了します。
- ⑥ 撮影します。

メモ ・ ホワイトバランスの設定
オート (表示なし) 自然な色合いで写るよう自動的に調整します。
晴天 (\odot) 晴れた屋外で自然な色に写ります。
曇天 (\odot) 曇った屋外で自然な色に写ります。
電球 (\odot) 電球の灯りで自然な色に写ります。
蛍光灯 (\odot) 蛍光灯の灯りで自然な色に写ります。

・ レンズバリアを閉じると、ホワイトバランスがオート (初期設定) に戻ります。

■画質モード (SHQ HQ SQ1 SQ2)

- ① レンズバリアを開けた状態で \odot ボタンを押すと、撮影メニューが表示されます。
- ② \triangleleft または \triangleright ボタンを押して [画像] を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ③ \triangleleft または \triangleright ボタンを押して [画質] を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ④ \triangleleft または \triangleright ボタンで画質を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ⑤ もう一度 \odot ボタンを押すと、メニューが終了します。
- ⑥ 撮影します。

メモ ・ 画質モード (ピクセルサイズ)
SHQ (1280 × 960) きれいにプリントしたいとき
HQ (1280 × 960) パソコンで画像を見るとき
SQ1 (1024 × 768) Eメールに添付するとき
SQ2 (640 × 480) 枚数をたくさん撮りたいとき

・ レンズバリアを閉じても、画質モードは変わりません。

■再生編

電源 ON : レンズバリアを閉じた状態で \odot ボタンを押すと、液晶モニタが点灯します。

電源 OFF : もう一度 \odot ボタンを押すと、液晶モニタが消灯します。

メモ ・ \odot ボタン : 前の画像を表示します。
・ \odot ボタン : 次の画像を表示します。
・ \odot ボタン : 複数のコマを表示します。 \odot ボタンで戻ります。
複数のコマを表示中に \odot ボタンを押すと緑の枠が前のコマに移動し、 \odot ボタンを押すと次のコマに移動します。
・ \odot ボタン : 拡大表示 (1.5 → 2 → 2.5 → 3倍) します。 \odot ボタンで1倍に戻ります。
拡大中に \odot ボタンを押すと、スクロールモードになります。
 \odot \odot \odot ボタンで前後左右に画面がスクロール (移動) します。
もう一度 \odot ボタンを押すと、スクロールモードを終了します。

■1コマ消去

- ① 消去したい画像を表示します。
- ② \triangleleft ボタンを1秒以上押し、メニューを表示します。
- ③ \triangleleft または \triangleright ボタンを押して [消去] を選択し、 \odot ボタンを押すと画像が消去されます。

■全コマ消去

注意 ・ 内蔵メモリの画像を消す場合は、カードを入れないでください。
・ カードの画像を消す場合は、あらかじめカードを挿入してください。

- ① レンズバリアを閉じた状態で \odot ボタンを押します。
- ② \odot ボタンを押して再生メニューを表示します。
- ③ \triangleleft または \triangleright ボタンを押して [設定] を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ④ \triangleleft または \triangleright ボタンを押して [メモリーセットアップ] または [カードセットアップ] を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ⑤ \triangleleft または \triangleright ボタンを押して [全コマ消去] を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ⑥ \triangleleft または \triangleright ボタンを押して [消去] を選択し、 \odot ボタンを押すと、全ての画像が消去されます。

注意 消去した画像は、元に戻せません。消去する前に、大切なデータを消さないよう十分に注意してください。

■プロテクト (\square)

- ① 保護したい画像を表示します。
- ② \triangleleft ボタンを1秒以上押し、 \square マークが表示されます。

注意 プロテクトされた画像は1コマ消去/全コマ消去できませんが、フォーマットを行うとすべて消去されます。

メモ ・ レンズバリアを閉じても、プロテクトの設定は保存されます。
・ プロテクトを解除する場合は、もう一度 \triangleleft ボタンを1秒以上押しします。

■動画の撮影・再生 (\odot)

撮影するには

- ① レンズバリアを開けた状態で \odot ボタンを押すと、撮影メニューが表示されます。
- ② \triangleleft または \triangleright ボタンを押して [撮影] を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ③ \triangleleft または \triangleright ボタンを押して [ドライブ] を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ④ \triangleleft または \triangleright ボタンを押して [動画] を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ⑤ もう一度 \odot ボタンを押すとメニューが終了し、液晶モニタが点灯します。
- ⑥ 液晶モニタを見ながら撮影します。(シャッターボタンを押すと、動画撮影が行われます。もう一度、シャッターボタンを押すと動画撮影が終了します。)

メモ \odot ボタンを押すと液晶モニタがOFFになり、動画が解除されます。

再生するには

- ① レンズバリアを閉じた状態で \odot ボタンを押します。
再生したい \odot マークのある画像を表示しておきます。
- ② \odot ボタンを押して再生メニューを表示します。
- ③ \triangleleft または \triangleright ボタンを押して [再生] を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ④ \triangleleft または \triangleright ボタンを押して [ムービー再生] を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ⑤ \triangleleft または \triangleright ボタンを押して [スタート] を選択し、 \odot ボタンを押すと動画が再生されます。

■ビーブ音の消し方

- ① レンズバリアを開けた状態で \odot ボタンを押すと、撮影メニューが表示されます。
- ② \triangleleft または \triangleright ボタンを押して [設定] を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ③ \triangleleft または \triangleright ボタンを押して [ビーブ音] を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ④ \triangleleft または \triangleright ボタンを押して [オフ] を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ⑤ もう一度 \odot ボタンを押すと、メニューが終了します。

メモ レンズバリアを閉じても、ビーブ音の設定は変わりません。

■液晶モニタの調整

- ① レンズバリアを開けた状態で \odot ボタンを押すと、撮影メニューが表示されます。
- ② \triangleleft または \triangleright ボタンを押して [設定] を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ③ \triangleleft または \triangleright ボタンを押して [モニタ調整] を選択し、 \odot ボタンを押します。
- ④ \triangleleft ボタン (- 暗く)、または \triangleright ボタン (+ 明るく) を押して明るさを調整し、 \odot ボタンを押します。
- ⑤ もう一度 \odot ボタンを押すと、メニューが終了します。

メモ レンズバリアを閉じても、液晶モニタの調整は変わりません。

★アクセスポイント (製品に関するお問い合わせ)

札幌	011-231-2338	金沢	076-262-8259
仙台	022-218-8437	大阪	06-6252-0506
新潟	025-245-7343	高松	087-834-6180
松本	0263-36-2413	広島	082-222-0808
東京 (八王子)	0426-42-7499	福岡	092-724-8215
静岡	054-253-2250	鹿児島	099-222-5087
名古屋	052-201-9585	沖縄	098-864-2548

※ 上記のアクセスポイントまで電話をかけていただければ、オリンパスカスタマーサポートセンターに転送されます。アクセスポイントまでの電話料金はおお客様のご負担となります。
なお、調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。
営業時間 9:30 ~ 17:00 (土・日曜、祝日及び弊社定休日を除く)